

展示会だより

例年、夏の一大イベントとして開催されている下水道展は、7月22日～7月25日の4日間インテックス大阪にて「日本発！くらしを支える底力 下水道展 '14大阪」として行われました。

大阪での開催は2006年以来となりました。

下水道展は下水道に関する最新技術の紹介として下水道研究発表会のほか、国際展開に向けた海外への発信、および一般の方に理解を深めて頂くことを目的としています。

今年は85 720人の来場者数となりました。(2013年東京では88 645人)

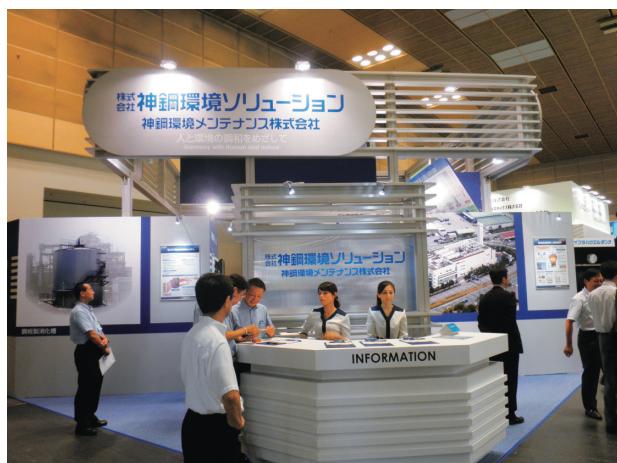
当社ブースでは下水処理場を地域バイオマス利活用の拠点と位置付け、省エネ・創エネ機器およびシステムをパネル中心に紹介しました。

中でも、今年6月に日本下水道事業団において新技術（Ⅱ類）登録された「気泡式高効率二段燃焼炉」、「パッケージ型鋼板製消化タンク」をブース前面に展示し、その他パビオミックス（双曲面形攪拌機）、バイオガス精製装置、沈砂し渣洗浄機などの商品パネルと、国交省下水道革新的技術実証事業B-DASHプロジェクト（KOBEグリーン・スイツプロジェクト）、小型バイナリー発電による排熱利用、放射性物質を含む下水汚泥減容化の取組みなどのパネルを展示しました。

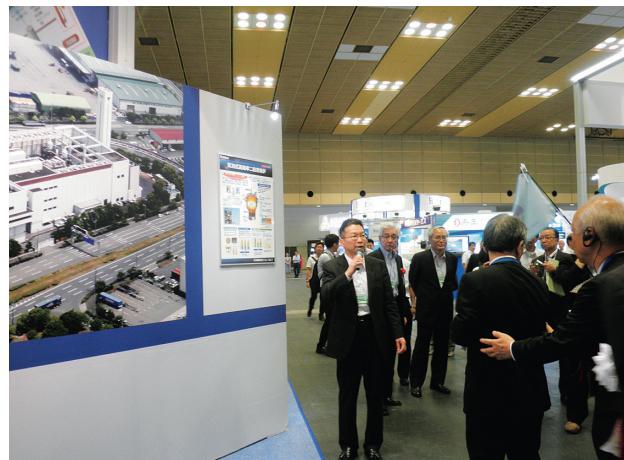
当社グループブースへは、4日間で1 600人を超える御客様にご来場を頂くことができました。関係者一同御礼申し上げます。

来年は東京での開催が予定されております。

今後も新たな当社技術の創出に尽力し、次回下水道展を紹介の場として活かしていきたいと思います。



当社グループの展示



出展パネルの前で来場者へ説明する様子